

平成19（2007）年2月28日  
第7回 緊急地震速報の本運用に係わる検討会（気象庁）

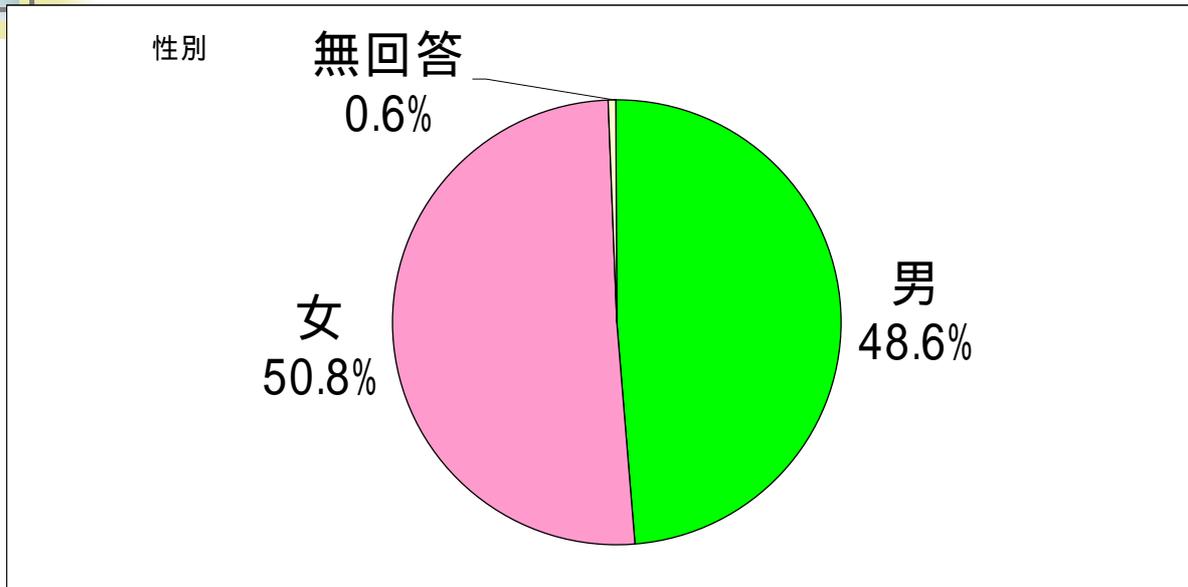
## 「緊急地震速報」に関する意識調査における 回答と評価

日本大学文理学部社会学科  
中森広道

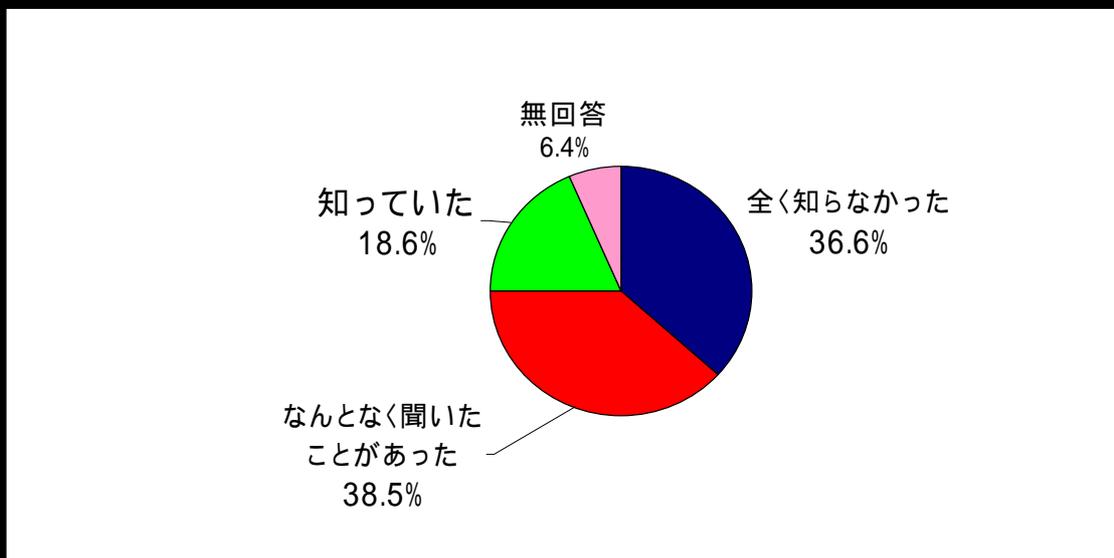
### 調査の概要(大学生の意識調査)

- 調査時期：平成18年11月下旬
- 調査方法：調査票(自記式)による集合調査法(授業内調査)
- 調査対象：日本大学文理学部学生
- 有効回答数：361

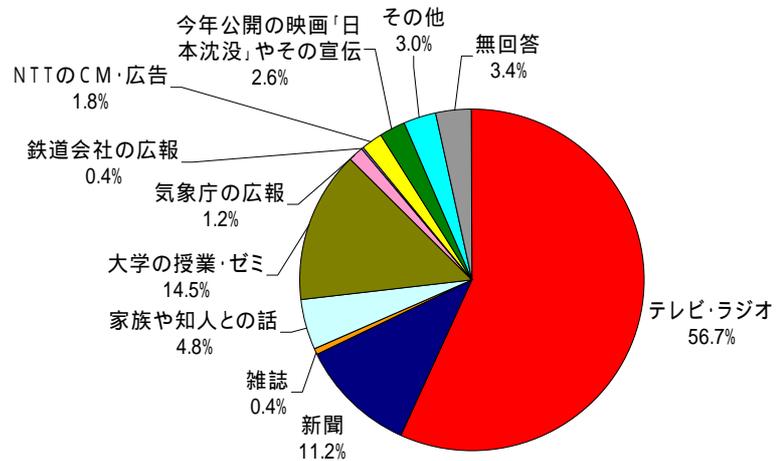
## 性別



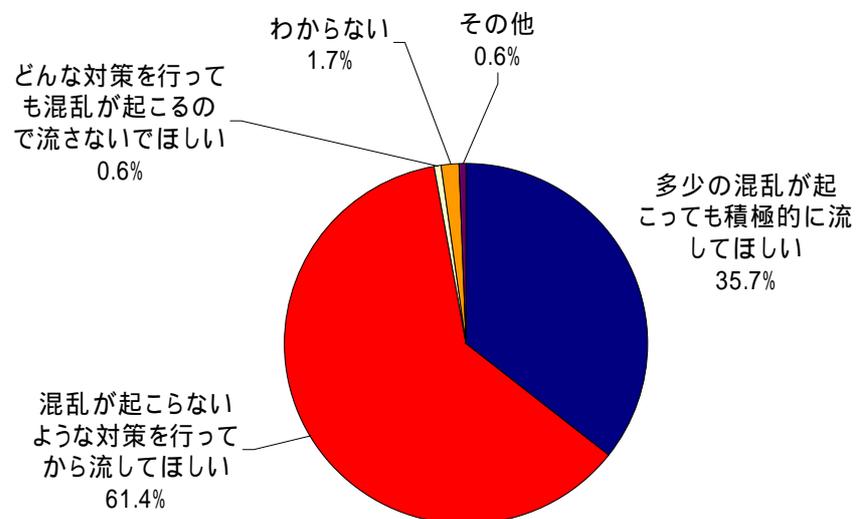
## 「緊急地震速報」を知っていましたか？



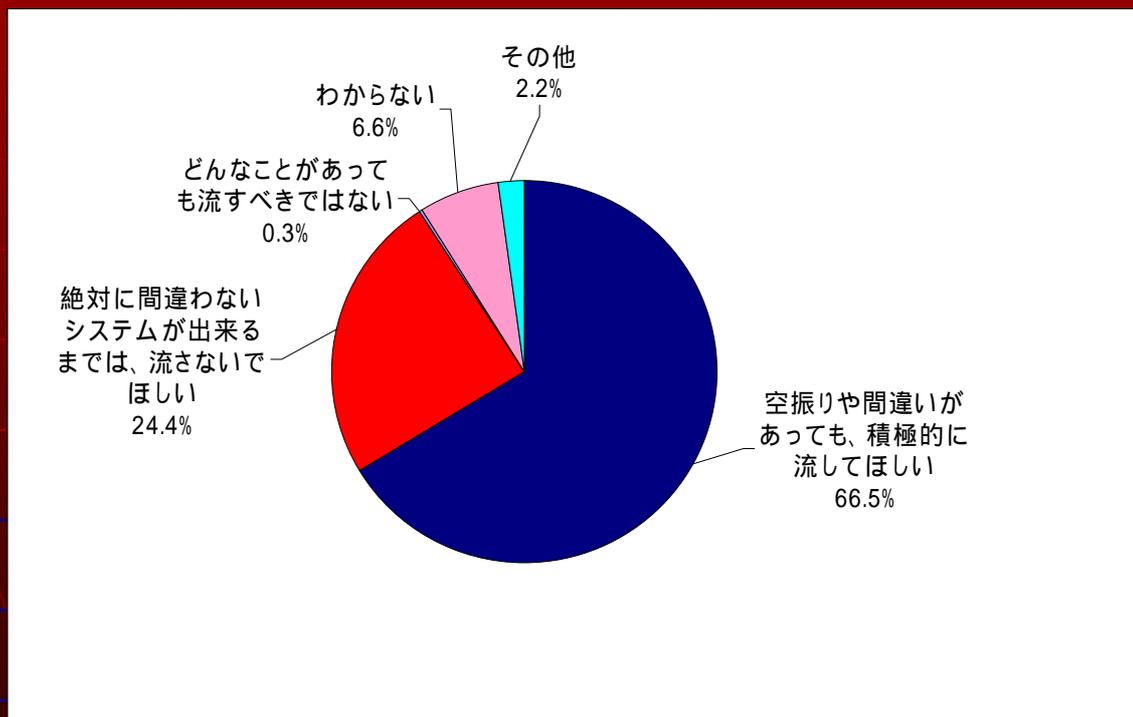
# 「緊急地震速報」を知ったメディア・方法



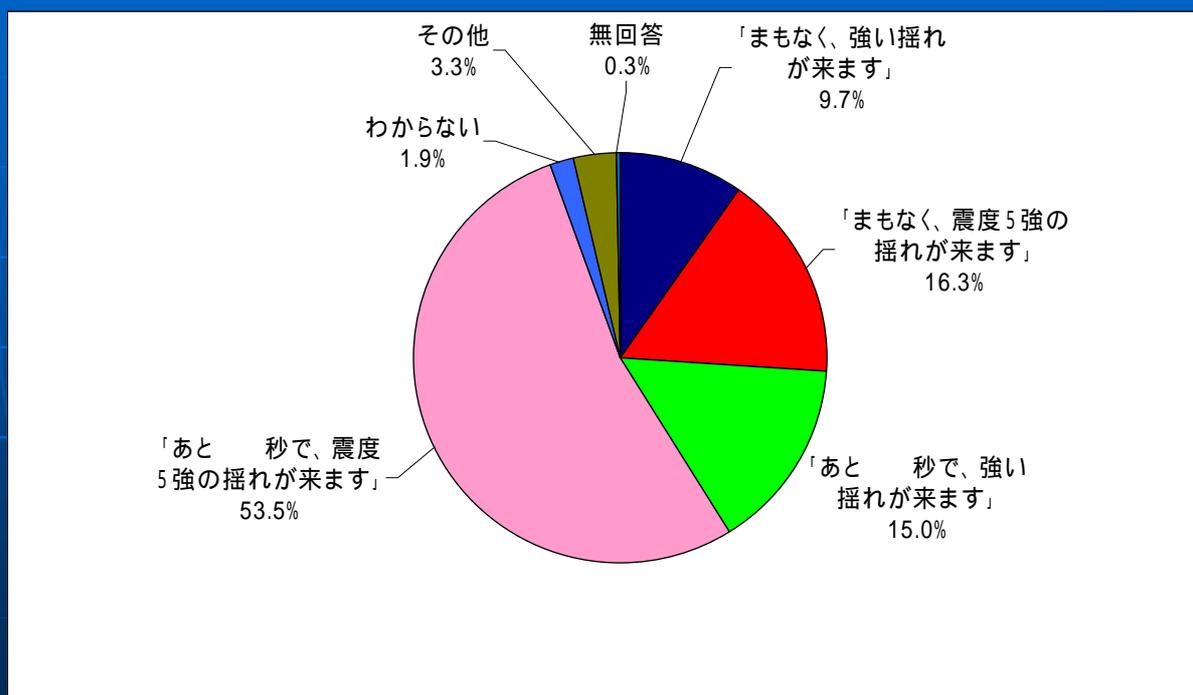
## 緊急地震速報を一般の人々に伝えることへの賛否 (混乱への懸念)

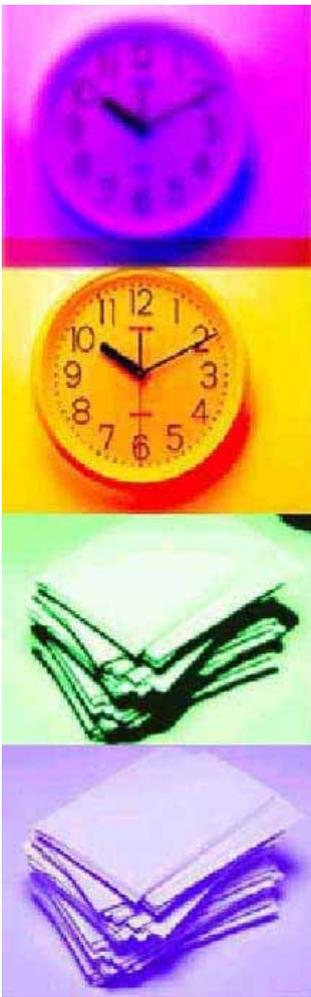


## 緊急地震速報を一般の人々に伝えることへの賛否 (誤報への懸念)



## 望ましい伝達表現





## 強い揺れ(「震度5強」)の到達時間と対応

- 休み時間の教室(大教室)
- 通学路(商店街)
- コンビニエンス・ストア
- 地下街
- ラッシュ時の駅のホーム
- 百貨店の地上1階
- 劇場・映画館の客席
- 自宅(自分の部屋)

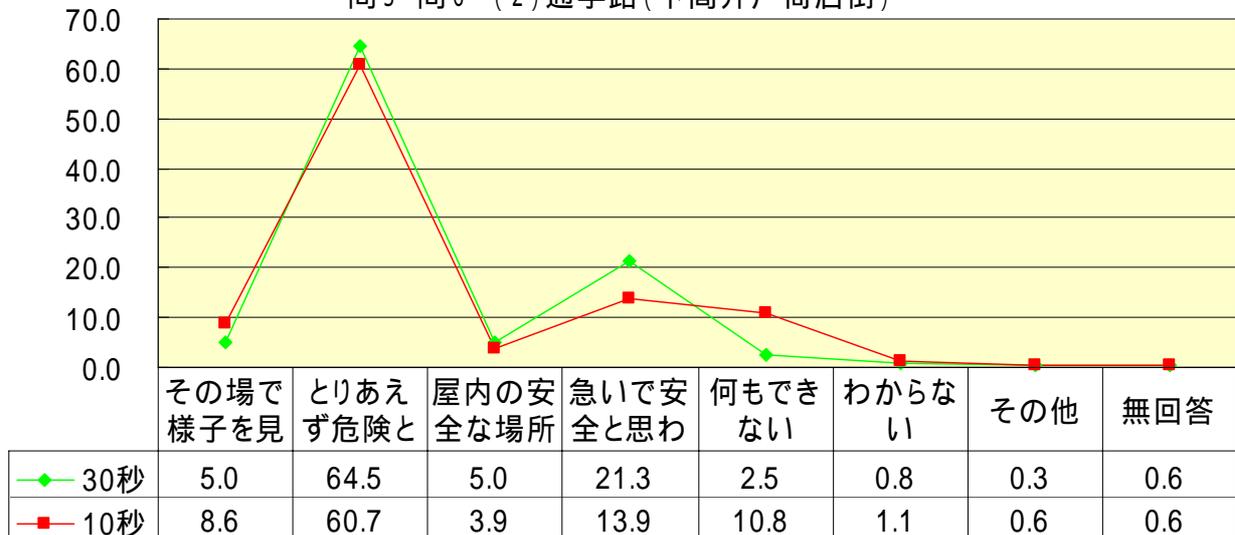
## 休み時間の教室(大教室)(%)

問5・問6 (1) 休み時間の教室(4号館)



# 通学路(商店街)

問5・問6 (2) 通学路(下高井戸商店街)

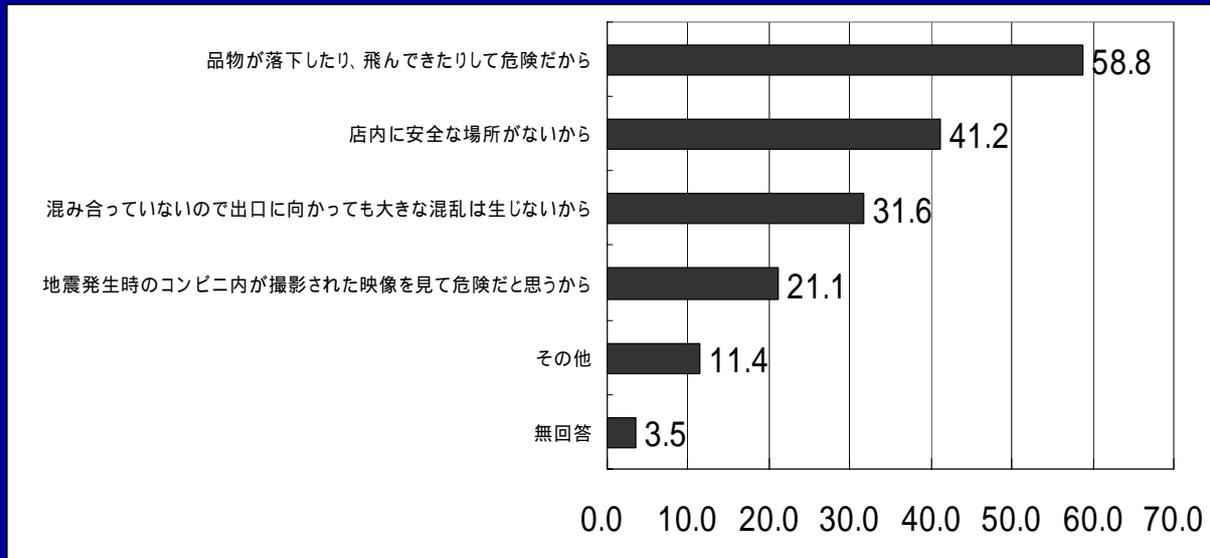


# コンビニエンス・ストア(都心)

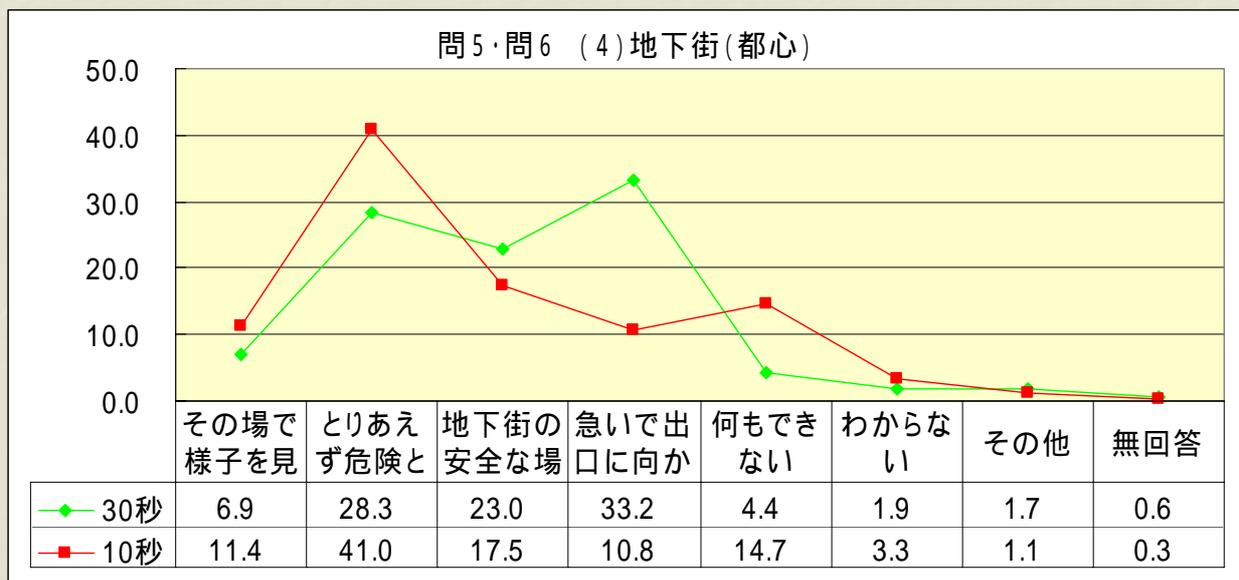
問・5・問6 (3) コンビニエンス・ストア(都心にある店舗)



# 「あと10秒」でも出口に向かう理由 (複数回答)

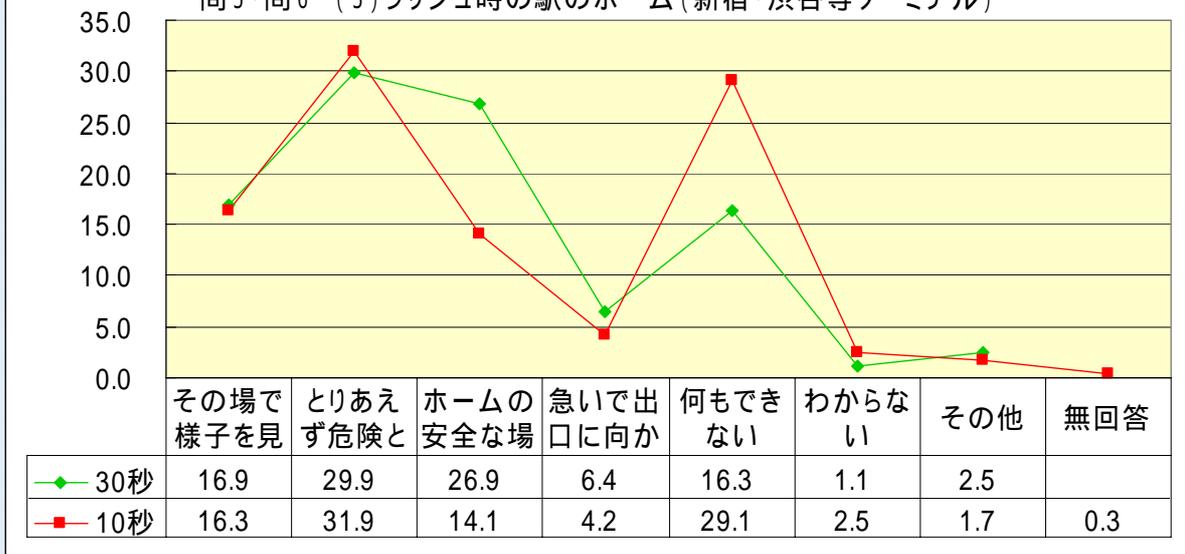


## 地下街



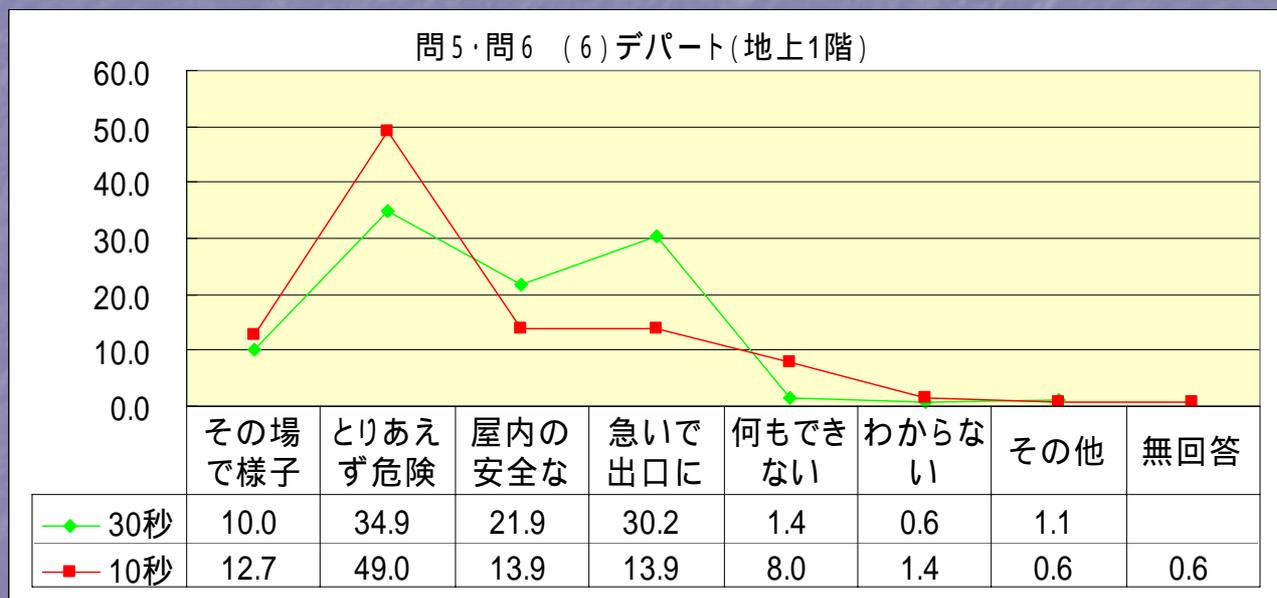
# ラッシュ時の駅のホーム

問5・問6 (5)ラッシュ時の駅のホーム(新宿・渋谷等ターミナル)



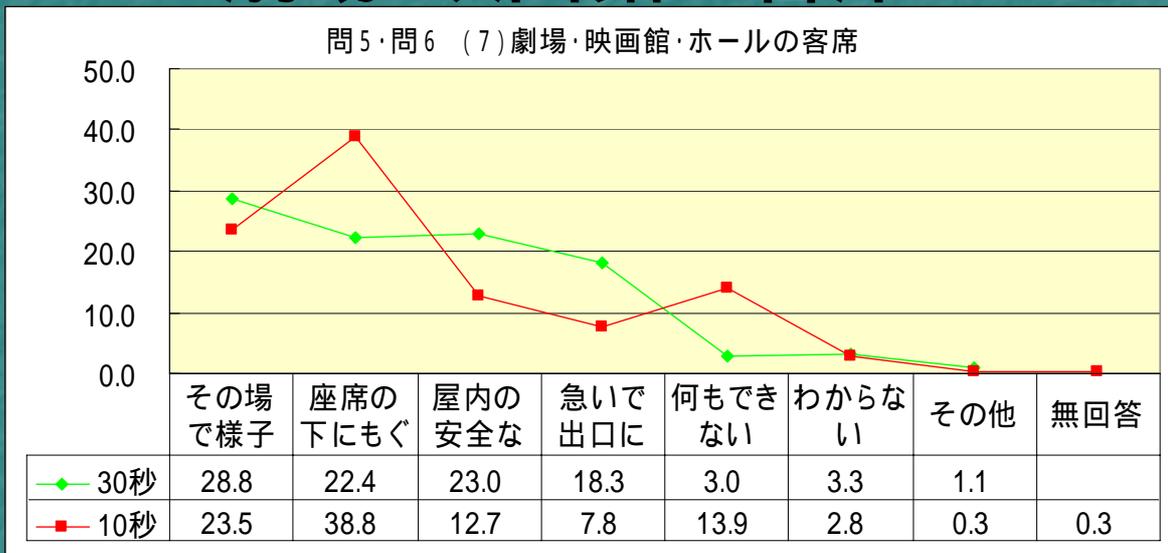
# デパートの地上1階

問5・問6 (6)デパート(地上1階)



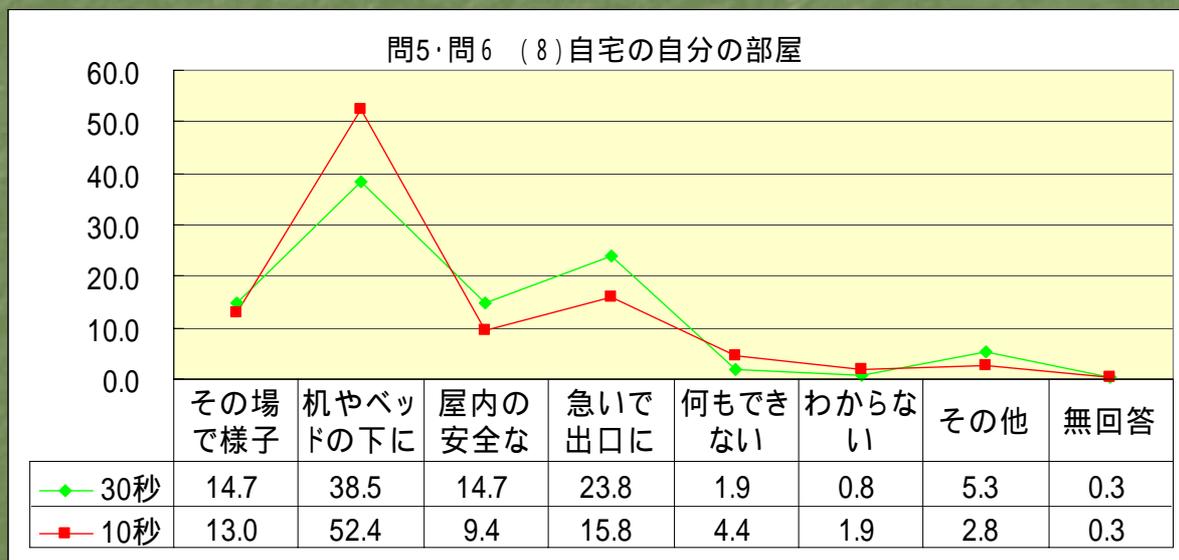
# 劇場・映画館の客席

問5・問6 (7) 劇場・映画館・ホールの客席

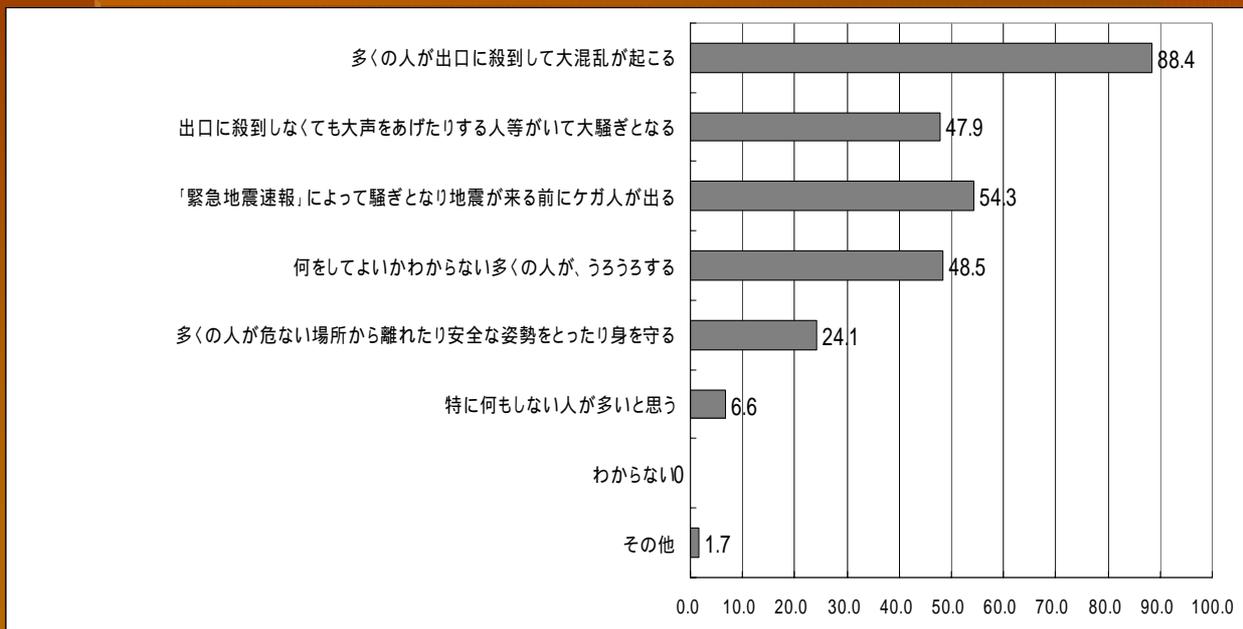


# 自宅(自分の部屋)

問5・問6 (8) 自宅の自分の部屋



# 百貨店・地下街などで「緊急地震速報」が出されたときのイメージ(複数回答)〔%〕



## 「緊急地震速報」の受け手側の対策・留意点

- 「緊急地震速報」は様々な手段で伝えられる  
一般の人々は「緊急地震速報」を様々な方法で独自に得ることができる(情報管理は難しいこと)を前提に対策を考える。  
「緊急地震速報」だけで、具体的な対応の指示などの全ては伝えられない。  
「緊急地震速報」が伝わった時、施設管理者、従業員、利用者が、それぞれ何をすればよいのかをわかるようにしておく(「緊急地震速報」と「受け手の対応」をセットに考える)。

- 「緊急地震速報」が出されても「地震」自体は止まらない。  
日頃の地震対策の徹底

特別なことを考え実行するためには時間が必要である。  
今からできることを考えて実行する。

これまで行ってきた「地震の揺れを感じた時の対処方法」や特に人的被害を少なくするための「転倒防止・落下防止・飛散防止」などの地震対策を徹底すること。現実的な対応。



中森広道

日本大学文理学部社会学科

[nakamori@chs.nihon-u.ac.jp](mailto:nakamori@chs.nihon-u.ac.jp)